



令和4年度 神奈川県立保土ヶ谷養護学校 グランドデザイン

学校教育目標

- ・ 自立と社会参加に向け、児童生徒が主体的・意欲的に行動し、学び高めあう教育を推進する。
- ・ 共生社会の実現に向け、特別支援学校が地域で担う役割を模索し、地域と連携した取り組みを進める。
- ・ 多様な教育ニーズがある児童生徒の教育活動全般について、安全に実施する。

目指す子ども像

- ・ 主体的に活動する子
- ・ 自己選択・自己決定できる子
- ・ 友達と協力できる子

目指す学校像

- ・ 元気な学校
- ・ 子どもも大人も安心して力が発揮できる学校

目指す教師像

- ・ 人権を尊重する教師
- ・ 想像豊かな教師
- ・ 支えあい高めあう関係を大切にする教師

学校づくりの方針

主体的対話的で深い学びのできる授業づくり

安全で安心できる学校づくり

開かれた教育活動と地域や関係機関と連携できる学校づくり

取組み

取組み

取組み

視点

- ①教育課程、学習指導
- ②児童生徒指導、支援
- ③進路指導、進路支援

- ① 作成した体育の「教科指導内容表」を基に実践を進める。他教科について指導内容表の作成に取り組む。
- ② 計画的にアセスメントを実施する中で、根拠に基づいた課題の分析を反映させた個別教育計画を作成する。
- ③ 改訂した進路指導の手引きの内容を教員間で共有し、保護者学習会等でわかりやすく説明する。

視点

- ①教育課程、学習指導
- ⑤学校管理(事故不祥事防止)

- ① 学校全体の防災教育計画を検討し、体系化する。
- ⑤ 不祥事防止会議・研修会において、事故・ヒヤリハット事例について職員で共有する。
- ⑤ 各学部(学年)で、テーマを設定し、人権に配慮した行動に取り組む。

視点

- ②児童生徒指導、支援
- ④地域等との協働

- ② 学校行事等を通して取り組める、新たな交流方法を検討し、計画・実践に結びつける。
- ④ 農園での野菜づくり及び遊び場づくりを地域との連携で進め、校内での活用を充実させる。
- ④ 地域を支援する人材の育成を図る。
本校の特別支援教育のノウハウを発信する。

令和4年度
目標

働き方改革 ~ワークライフバランスの推進~
⑤ 校務の効率化・縮減を見える化する。